



---

# 新国民運動・官民連携協議会 第6回会合

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」

---

令和5年5月12日（金）



## 到達 目標

- ①協議会の取組の運営方針・今年度の取組予定について認知・理解
- ②新国民運動・官民連携協議会に関して、進捗を把握するとともに、幅広い意見・情報交換を行い、相互理解を深める

5月12日（金）10時00分～ オンライン

1. 今年度の協議会運営方針について
2. G7札幌のご報告
3. 今後のキャンペーン実施予定
4. スモールグループについて
5. 新規ご提案・意見等について
6. R4年実施の官民連携プロジェクト結果のご報告
7. その他（含む次回予告）

### 質疑応答・意見交換時の留意事項

- 多くの皆さまにご発言いただけるよう、ご発言は簡潔明瞭に**1～2分程度**でお願いします
- ご発言を希望される方は、**Zoom上で手を挙げていただくか、又はQ&Aにご送信ください**
- また、直前のご発言に関連してご質問等ございましたら、Q&Aに「**関連**」とご送信ください

## 2023年度の新国民運動官民連携協議会の運営方針[確定]①

- このため、令和5年度（2023年度）を国民運動の“**本格実施元年**”と位置付け、
  - **すべての協議会会員**が単独又は連携して、衣食住職/移動・買物といった暮らしのあらゆる局面で、**製品・サービス・取組の提供、意見提案、実践アクションを行うことを目標に、**
  - 引き続き、**取組・製品サービス登録や積極的なプロジェクト提案**をお願いするとともに、いただいた「**機会・場**」、「**取組、製品サービス**」をマッチング情報として**マッピング・可視化**しながら、**応援拠点の全国展開などに向けて、事務局／環境省からも積極的に営業しつつ、必要な支援**を行います。
  - 登録いただいた**製品・サービス・取組、連携実践プロジェクト・応援拠点、普及啓発キャンペーン**等に関して、**SNSや海外向け発信等のPR機能を強化**します。
  - 連携実践プロジェクト・応援拠点や個々の**製品・サービス・取組の提供**を**効率的・効果的に進めるため、テーマも募集しながら、時機に即した普及啓発キャンペーン**を展開します。

※現時点のテーマ：住宅省エネ、クールビズ×サステナブルファッション、デジタル・ワーク、スイッチ消してお出かけ節電、熱中症

## 2023年度の新国民運動官民連携協議会の運営方針[確定]②

- 令和6年度に向けた準備として、**具体的な予算要望を頂戴します。**  
**(4月21日✕)**
- 衣食住職/移動・買物といった暮らしの各分野の到達目標（KPI）やそこに至る取組、必要事項、連携方策等（TODO）をまとめた「**豊かな暮らし10年ロードマップ**」を年内目途（遅くとも年度内）に策定します。
- **スモールグループでの分野別の日常的な議論を促し、取組や運営方針、制度・ルール等に反映できるものは即座に対応しつつ、協議会会合に進捗を報告します。**
- 協議会会合は、スモールグループとの組み合わせでプレナリー（全体会合）としての機能を重視し、これまでの**毎月ペースから、例えば、以下のような1.5～3か月毎の頻度**とし、効率的・効果的な開催・運営を図ります。
  - **5月中旬**：G7札幌報告、予算要望、キャンペーン募集結果を踏まえた対応等
  - **7月上旬頃**：G7広島報告
  - **9月上旬頃**：G20報告、10年ロードマップ①
  - **10月下旬頃**：10年ロードマップ②
  - **12月下旬メド**：10年ロードマップ③（策定）、令和6年度運営方針①
  - **3月下旬メド**：年度内振り返り、令和6年度運営方針②（策定）
- 皆様のご意見も踏まえながら、協議会の自立自営に向けた**運営体制の強化を検討しつつ、協議会の規模拡大**を図ります。

# 2023年以降のタイムライン

本日

令和5(2023)年

令和6(2024)年

3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 2024年度 | 2025年度~

- ◆ 第5回
- ◆ 第6回 (G7札幌報告, 予算ニーズ等)
- ◆ 第7回 (G7広島報告等)
- ◆ 第8回 (G20報告, 10年ロードマップ①等)
- ◆ 第9回 (10年ロードマップ②等)
- ◆ 第10回 (10年ロードマップ③, 令和6年度運営方針①等)
- ◆ 第11回 (年度内振り返り, 令和6年度運営方針②等)

予算ニーズを特に伺い

官民連携協議会

意見・提案・調整

政策に関する要望

応援拠点：地域・全国へ拡大

住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン【経済対策】

【第1弾】服装改革・ファッション、デジタルワーク（国立公園、ワーケーション）

【第2弾】スイッチを消してお出かけ節電・省エネ

クールビズ×サステナブルファッション、熱中症  
連携実践プロジェクト、普及啓発キャンペーン

インセンティブ付与、効果的な情報発信（ナッジ）プロジェクト

スモールグループでの議論・提案

暮らし10年ロードマップ検討・策定

登録、(随時) 取組、製品・サービス発信・PR（ポータル、SNS、プレスリリース等）

国民運動全般

登録、(随時)

イベント

令和5(2023)年 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 令和6(2024)年 1月 | 2月 | 3月 | 2024年度 | 2025年度~

G7 日本

環境月間

概算要求

G20 インド

大阪万博

- G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合にて「脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォーム」の設立
- 西村環境大臣とインド共和国ヤードブ環境・森林・気候変動大臣との会談にてG7/G20合同ワークショップ開催が確認されました。

## G7札幌の 気候・エネルギー・環境大臣会合

西村環境大臣と  
インド共和国ヤードブ環境・森林・気候  
変動大臣との会談

日程	2023/4/15(土)～ 4/16(日)
----	-----------------------

日程	2023/4/16(日)
----	--------------

参加国/  
参加機関

参加国：日本、カナダ、フランス、欧州連合（EU）、ドイツ、イタリア、英国、アメリカ合衆国  
招待国：インド（G20議長国）、インドネシア（ASEAN議長国）、UAE（COP28議長国）  
招待機関：国連気候変動枠組条約事務局、経済協力開発機構、国際エネルギー機関等

## 参加大臣

- 西村環境大臣
- インド ヤードブ環境・森林・気候変動大臣

G7 気候・エネ  
ルギー・環境大  
臣会合  
コミュニケの53  
:需要サイドの  
行動

IPCC の第6次評価報告書（AR6）統合報告書の見解知見によれば、**需要サイドの対策と新たな最終用途のサービスの対策提供**により、最終用途分野部門における世界の GHG 排出量をベースラインシナリオと比較して **2050 年までに 40～70%削減**することができ、また、政策、インフラ、及び技術に支えられた**社会文化的な選択肢、行動やライフスタイルの変化**は、最終ユーザーが**複数の相互利益を伴う低排出量集約型が低い消費への移行**を支援することができる

インフラの利用、設計、建築物の利用、最終使用技術の採用、及び消費者の選好などの需要サイドの変化を促進するためには、産業界やステークホルダーへの適切なガイダンス、及びより良い排出関連情報、適切な規制及び価格シグナルの提供を通じ、**消費者の意識を高め、彼らの選択を支援することが重要**である

我々は、デジタル化や消費者の選好に影響を与えるようなインセンティブの増加を含め、低炭素及びゼロ・エミッション製品やサービスの開発、及び省エネルギー達成を促進するための政策手段を拡充する。効果が高く、社会的に公正な施策を立案するためには、**企業、地方自治体、社会団体、若者、及び市民と協力し、知識や経験を共有することが重要**である。

したがって、我々は「**脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォーム**」を**設立**し、我々の気候目標に沿った**持続可能な消費者の選好を奨励**することに貢献するイノベーションのための**官民パートナーシップの加速**を目指す。我々は、**低炭素及びゼロ・エミッション製品やサービス、及び需要サイドの政策に関する経験や優良事例を共有**することで、**他者を支援**する。

## 合意概要

G7及びG20の連携として、以下の具体的な取組を実施することを確認しました。

- 需要側・消費者の行動変容が気候変動対策に重要との共通認識の下、生活様式の変化や持続可能な**消費者選択に関するG7/G20合同ワークショップの開催**

# 本協議会（ライフスタイル）関連の成果

- G7札幌会場及びG7長野県軽井沢外相会合の広報展示会場にて、官民連携協議会の取組の情報発信をしました。

## パネル展示による官民連携協議会取組の発信

G7札幌会場でのパネル展示において、官民連携協議会の取組を、以下2点を中心に発信しました。

- 需要側対策を日本が先導していくこと
- 上記取組を、600近い協議会参加組織の皆さまと官が連携して進めており、既に多くの取組が動き出していること



G7長野県軽井沢外相会合のIMC広報展示会場幌会場でパネル展示において、官民連携協議会の取組を発信しました。



- 協議会の皆様に、「脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォームでの掲載事例の募集とG7/G20合同ワークショップの情報発信希望を募ります。

## 1. G7プラットフォーム概要

- 需要側対策は削減余地が大きく、IPCC報告書においても位置付けられており、G20議長国であるインドとも連携して、消費者の行動変容を促すことが重要。
- このため、G7札幌にて「脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォーム」を新たに立ち上げ、**消費者の行動変容の促進等の需要対策に関するG7の政策・良好事例について、Webにより情報共有・発信する。**

## 2. G7/G20合同ワークショップの開催

- 需要側・消費者の行動変容が気候変動対策に重要との共通認識の下、生活様式の変化や持続可能な消費者選択に関するG7/G20合同ワークショップの開催する。

## 協議会の皆様にお願いしたいこと

内容	1. G7プラットフォームに掲載する事例の募集をします。 消費者の行動変容の促進等の需要対策に関する良好事例の以下掲載内容の募集をさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 取組・製品・サービスのタイトル</li> <li>• 内容</li> <li>• 団体名・問い合わせ先</li> <li>• 内容に関する情報ページURL</li> <li>• 関連画像</li> </ul>
言語	英語での提出をお願いいたします。
期間	5/12（金）に掲載事例を募集開始 6/30（金）までにご提出をお願いいたします。
応募方法	協議会後にメールでご案内と掲載フォーマットを送付させていただきます。

# キャンペーンに関する情報提供

- 熱中症予防、クールビズ×サステナブルファッションキャンペーン等において、以下の取組を実施いただいております。引き続き参画会員さまのご協力、ご要望を事務局にお寄せください。

対象	主体者	開催時期	概要
クールビズ×サステナブルファッション	(一社)日本フランチャイズチェーン協会	夏季を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 環境省と連携し、会員企業へ「クールビズの取組」の呼び掛けを実施</li> </ul>
	チェーンストア協会	夏季を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 環境省と連携し、クールビズに関する報道発表・会員各社への連絡を実施</li> </ul>
	そごう・西武	夏季を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) クールビズとして、夏のビジネススタイルに軽量やストレッチ性、自宅で洗えるなど機能性を重視したセットアップを昨年以上に強化提案する</li> </ul>
熱中症対策	楽天	夏季を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 楽天市場にて、暑さ対策特集を展開 新国民運動と連携している旨の表示も検討</li> </ul>
	大和ハウス	夏季を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 施工現場に環境センサーを導入、基準値超過検知により作業員及び管理者にアラートを発信し、熱中症を未然防止する仕組みを展正</li> </ul>
	三菱電機	春先から夏本番前	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 春先から夏本番前のエアコン試運転の呼びかけを実施中</li> </ul>
	そごう・西武	夏季を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 熱中症予防で、女性向けに加え本年は男性向け日傘も増幅展開し、ビジネススタイルの提案を実施する 日傘機能だけではなく「晴雨兼用」として持ち歩くことで、急な雨の際のビニール傘の購入をなくして廃棄物削減および脱炭素に繋げる</li> </ul>
住宅省エネ	国交省・経産省	3月31日～	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上や高効率給湯器の導入等の住宅省エネ化を支援する3つの補助事業</li> </ul>
	・環境省 国交省・地方公共団体(交付金)	年間を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(後述) 住宅・建築物のカーボンニュートラルの実現に向け、既存住宅の省エネ改修を加速するため、住宅・建築物省エネ改修推進事業を実施</li> </ul>

# 地方公共団体と連携した省エネ改修の促進（国土交通省）

■ 住宅・建築物のカーボンニュートラルの実現に向け、既存住宅の省エネ改修を加速するため、令和5年度より**住宅・建築物省エネ改修推進事業**における住宅の省エネ改修等に係る支援メニューを見直し、設計・改修パッケージ補助を創設。

令和5年度当初予算：社会資本整備総合交付金等の内数

## 住宅

### 省エネ診断

民間実施：国と地方で2/3  
公共実施：国1/2

### 創設

### 定額方式

#### ■ 交付対象

省エネ設計等費及び省エネ改修工事費を合算した額

- ※ 設備の効率化に係る工事については、開口部・躯体等の断熱化工事と同額以下。
- ※ ZEHレベルの省エネ改修と併せて実施する構造補強工事を含む。
- ※ 改修後に耐震性が確保されることが必要（計画的な耐震化を行うものを含む）。

#### ■ 交付額（国と地方が補助する場合）

※省エネ改修の地域への普及促進に係る取組を行う場合に重点的に支援

省エネ基準適合レベル	ZEHレベル
300,000円/戸 交付対象費用の4割を限度	700,000円/戸 交付対象費用の8割を限度

\* 令和5年度までに補助事業を創設する地方公共団体は、社会資本総合整備計画に定める事業期間の間は、引き続き補助率方式も適用可能

### 廃止\*

### 補助率方式

### 省エネ設計等

民間実施：国と地方で2/3  
公共実施：国1/2

### 省エネ改修(建替えを含む)

#### ■ 対象となる工事

開口部、躯体等の断熱化工事、設備の効率化に係る工事

※ 対象となる省エネ改修(建替えを含む)の要件については、定額方式の対象となる工事と同様。

#### ■ 交付率、補助率

民間実施：国と地方で、マンション1/3、その他23%  
公共実施：国11.5%

#### ■ 補助限度額（国と地方が交付率23%で補助する場合）

建物の種類	省エネ基準適合レベル	ZEHレベル
戸建住宅	766,600円/戸	1,025,400円/戸 (※の場合360,000円/戸を加算)
共同住宅	3,800円/m <sup>2</sup>	5,000円/m <sup>2</sup> (※の場合3,000円/m <sup>2</sup> を加算)

※ZEH化に対応するための構造補強を省エネ改修と併せて行う場合

## 建築物

### 省エネ診断

民間実施：国と地方で2/3  
公共実施：国1/3

### 省エネ設計等

民間実施：国と地方で2/3  
公共実施：国1/3

### 省エネ改修(建替えを含む)

#### ■ 対象となる工事

開口部、躯体等の断熱化工事、設備の効率化に係る工事

- ※ 設備の効率化に係る工事については、開口部・躯体等の工事と併せて実施するものに限る。
- ※ 改修後に耐震性が確保されることが必要（計画的な耐震化を行うものを含む）
- ※ 省エネ基準適合義務の施行後に新築された建築物又はその部分は、ZEHレベルへの改修のみ対象。

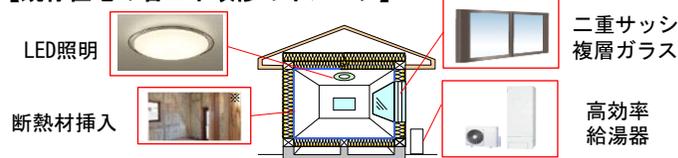
#### ■ 交付率

民間実施：国と地方の合計で23%  
公共実施：国11.5%

#### ■ 補助限度額(国と地方が交付率23%で補助する場合)

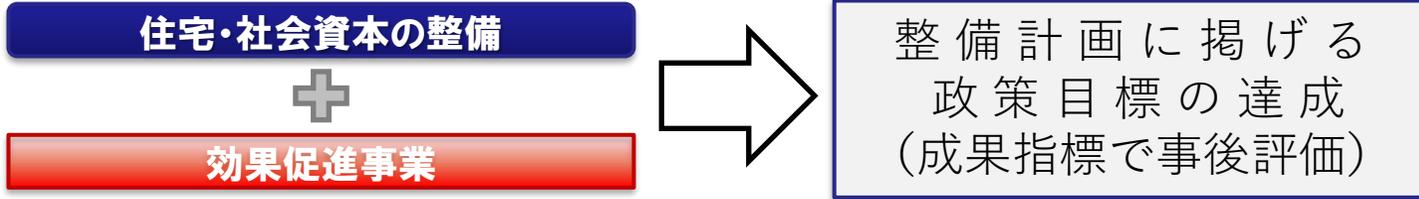
省エネ基準適合レベル	ZEHレベル
5,600円/m <sup>2</sup>	9,600円/m <sup>2</sup>

#### 【既存住宅の省エネ改修のイメージ】



※耐震改修と併せて実施する場合は、住宅・建築物安全ストック形成事業等において実施

# (参考) 社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金の対象事業



## 住宅・社会資本の整備

## 効果促進事業

### 基幹事業

- 道路
- 港湾
- 河川
- 砂防
- 下水道
- 海岸
- 都市公園
- 市街地
- 住宅
- 住環境整備
- 地域公共交通再構築
- 等

- 計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務
- 全体事業費の2割目途

**(社会資本整備総合交付金の例)**

- ・産業・観光振興等による活力ある地域の形成
  - 例) 都市公園の整備 
  - 例) 港湾施設の整備 
- ・民間投資を誘発する取組
  - 例) PFI等を活用した下水汚泥固形燃料化施設等の導入 

**(防災・安全交付金の例)**

- ・インフラ老朽化対策
  - 例) 公園施設の改修 
- ・生活空間の安全確保
  - 例) 自転車通行空間の整備 
- ・事前防災・減災対策
  - 例) 流域治水対策  (風水害・土砂災害への対策)

**(社会資本整備総合交付金の例)**

- ・アーケードモールの設置・撤去
- ・観光案内情報板の整備  (例) 観光案内情報板の整備
- ・社会実験 (レンタサイクル、道路の歩行者優先化等)
- ・計画検討・策定 (景観計画、住生活基本計画等)

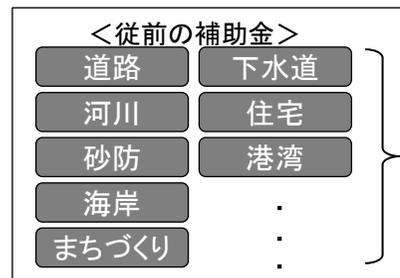
**(防災・安全交付金の例)**

- ・ハザードマップの作成・活用 
- ・防災教育、防災訓練の実施  (例) 防災訓練の実施
- ・災害時のための資機材整備 (マンホールトイレ、可搬式ポンプ等)
- ・遊具の修繕

※このほか、社会資本整備円滑化地籍整備事業(社会資本整備と地籍調査の連携を図り、社会資本のストック効果の最大化等を図る観点から行う地籍整備事業)等がある。

## (参考) 社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金

- **社会資本整備総合交付金**は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- **防災・安全交付金**は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組を集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。



**社会資本整備総合交付金**  
(成長力強化や地域活性化等につながる事業)

令和元年度予算	: 8,713億円※
令和2年度予算	: 7,627億円※
令和3年度予算	: 6,311億円
令和4年度予算	: 5,817億円
令和5年度予算	: 5,492億円

**防災・安全交付金**  
(「命と暮らしを守るインフラ再構築」、「生活空間の安全確保」を集中的に支援)

令和元年度予算	: 1兆 3,173億円※
令和2年度予算	: 1兆 388億円※
令和3年度予算	: 8,540億円
令和4年度予算	: 8,156億円
令和5年度予算	: 8,313億円

### 両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の17事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。

## スモールグループの進捗状況

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
①住宅	110	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者にとってストック（既存住宅）の省エネ化の優先度を向上させる取組方法の策定</li> <li>断熱における課題の特定と、消費者の関心を高める効果的な訴求方法の検討</li> </ul>
②インセンティブ/ポイント	125	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の行動を変容させる、効果的なインセンティブの策定</li> <li>インセンティブを用いた脱炭素の啓発方法検討</li> </ul>
③モビリティ	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーがエコドライブ等の取組を自発的、もしくは能動的に実施可能な仕組みの形成方法検討</li> </ul>
④食	83	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携により、自律分散型の地産地消を実現できる具体手段の検討</li> <li>食の生産、物流の中で、最も脱炭素へのインパクトが大きい分野の特定</li> </ul>
⑤宅配/通販	53	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブの訴求方法検討</li> <li>利用者の利便性と環境への配慮の判断軸の策定</li> </ul>
⑥サステナブルファッション	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の衣服リサイクルへの意識を向上させる訴求手段・方法の検討</li> </ul>
⑦教育	85	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員へ向けた学習環境の整備方法の検討</li> <li>子供が自分ごととして行動できる教育方法の策定</li> </ul>
⑧GHG見える化	134	<ul style="list-style-type: none"> <li>見える化から、行動変容に繋がる仕組みの策定</li> </ul>

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
⑨プラスチック	82	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルの原料収集、原料の選別等の、リサイクルの各工程における課題の特定</li> <li>上記を解決する技術・運用方法の共有・策定</li> <li>マイボトル等の、消費者を巻き込んだプラスチック削減方法の策定と、課題の特定</li> </ul>
⑩意識啓発	125	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネに対するネガティブイメージを払拭するための対応方針策定</li> <li>知識の蓄積のみならず、環境問題を自分ごととして捉え、行動を促すための啓発方法の策定</li> <li>脱炭素を啓発する適切なターゲットの選定</li> </ul>
⑪ワーケーション	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ活用に向けた実証実験とワーケーションを融合した取組事例の共有</li> <li>地域住民との効果的な連携方法の策定</li> </ul>
⑫生物多様性	74	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の数値化、計算方法の検討</li> <li>企業の生物多様性保全に向けた行動指針策定</li> </ul>
⑩廃棄物	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物のリサイクルにおける課題・原因の特定 ⇒全国規模の一斉回収が難しい ⇒コストが高い（特に複合素材のリサイクル） ⇒運輸時にCO2が排出される</li> </ul>
⑭若者	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の環境配慮型商品への購買意欲を向上させる取組方法の検討 ⇒企業間イベント、インセンティブ付与の検討</li> </ul>

※人数は4/27時点での申込者数

# スモールグループの今後の進め方について

- スモールグループを活用した今後の議論の進め方として、協議会会員の皆様のスモールグループに対するご意見、ご要望を受け改善を図ってまいります。
- 引き続き、運営上のご意見等ございましたら、お寄せいただきますようお願いいたします。

## スモールグループの運営に関するこれまでのご意見

- 初対面のコミュニティであるため、(特にSlackで)参加者が自分からは発言しにくい雰囲気がある。
- スモールグループの取り組み方として、全体像や議題、議論のロードマップを示し合わせ、各社で役割分担/リードしていく方法を提案する。
- スモールグループのスレッドが盛り上がっていない原因として参加者の情報が見られない点があると思う。誰がどの団体に所属しているか見える化いただきたい。
- スモールグループ内で、各団体の活動がどういう風に進んでいるか、また、議論内容や計画等の情報を共有いただきたい。参加される企業に関する情報(参加団体の名称、規模、目的等)が見える化していただきたい。
- 会社のセキュリティ制限や、登録時の英語での案内等がSlack登録のハードルとなり、参加できていない

スモールグループへご参加いただいた事業者、団体の皆様それぞれが何を目的とし、どういったニーズ、ご要望があるのか、皆様のニーズに応じたスモールグループの運営を実施してまいります。

# 予算ニーズ募集、キャンペーンテーマでいただいたご要望結果

- 予算ニーズについては55件、キャンペーンテーマについては4件の要望をいただきました。多くのご意見をいただきましたことに、感謝申し上げます。概算要求に向けて皆様にヒアリング等をお願いさせていただきますので、ご協力をいただきますようお願いいたします。

## 令和6年度予算ニーズ募集概要・結果

募集期間	2023年3月28日(火)~4月21日(金)
応募件数	55件
意見概要	<p>いただきました主な意見は、住宅、インセンティブ、見える化など、テーマは多岐にわたりました。 (ご意見詳細は別紙Excelをご確認ください)</p>
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様からのご意見を踏まえて、今後予算要求を実施していきます。いただいた内容について追加のヒアリングをさせていただきます。</li> <li>・6月23日を締め切りとし、引き続き予算要望を募集させていただきます。</li> </ul>

## 新規キャンペーンテーマ募集概要・結果

募集期間	2023年3月28日(火)~4月21日(金)
応募件数	4件
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「住宅用太陽光発電」について、「住宅開口部の高断熱化」について、「従業員の行動可視化」について、「行動変容を促すためのインセンティブ付与」について、ご意見を頂戴いたしました。皆様からいただきましたご意見を踏まえつつ、今後のキャンペーンを検討していきます。今後、いただいた内容について追加のヒアリングをさせていただきます。</li> <li>・今後キャンペーン要望につきましては、毎月いただいているご提案・ご意見と合わせて引き続き募集させていただきます。</li> </ul>

## 新規の連携実践プロジェクト（1/2）



- 連携に向けた各プロジェクトの内容確認、擦り合わせは、本日までご議論いただければ幸いです。
- その上で、他団体との連携を募っている案件への参画にご関心ある場合は、事務局までご連絡ください。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

## 「場・機会」の提供者

## 企業・団体名 期待される役割

## 「製品・サービス」の提供者

## 企業・団体名 期待される役割

## 紙コップの水平リサイクル構築に向けた実証事業

- 内容：紙コップを消費者自らが洗浄することを前提とした消費者参加型の紙コップの水平リサイクルモデルの構築にあたり、課題の把握、解決策の検討を実証的に行う
- 日時：2023年度

企業・団体  
・自治体

食堂など紙コップが使用される場に、紙コップの洗浄機と回収箱を設置。また紙コップ洗浄機の定期的なメンテナンスを実施

連携先募集:  
7月末まで

## 提案者

東罐興業  
(東洋製罐  
GHD)

紙コップの一次洗浄（使用直後の簡易な洗浄）機械の供給  
リサイクル原紙から紙コップを生産

企業・団体

一次洗浄された紙コップの回収・保管  
二次洗浄（工場での本格的な洗浄）の実施

連携先募集:  
9月末まで

## 環境・防災の啓発活動／製品PR

- 内容：気象キャスターによる環境・防災の啓発活動とともに、環境配慮型の製品・サービスをPR
- 日時：2023年度
- 場所：学校、公民館、科学館

学校

全国の小学校・中学校・高等学校での出前授業を開催

公民館や  
科学館

イベント・講座を開催

企業

イベント会場の提供

連携先募集:  
随時

## 提案者

NPO法人  
気象キャスター  
ネットワーク

啓発活動、企業様の環境配慮型の製品・サービスのPRを実施

企業

脱炭素に貢献する製品・サービスを紹介、気象キャスターネットワークを連携してPRを実施

連携先募集:  
随時

応援拠点

応援拠点

## 新規の連携実践プロジェクト（2/2）

- 連携に向けた各プロジェクトの内容確認、擦り合わせは、本日までご議論いただければ幸いです。
- その上で、他団体との連携を募っている案件への参画にご関心ある場合は、事務局までご連絡ください。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

## 「命を守る一部屋（健康省エネルギー）推進事業」の実施

- 内容：健康省エネルギーを拡大するため、改修費用を一部補助し、また地域住人・事業者へ普及啓発活動を実施
- 日時：2023,24年度（2023年度、全国6自治体においてモデル事業を推進）

## 「場・機会」の提供者

## 企業・団体名 期待される役割

## 国土交通省

住宅の省エネ性能を向上させる改修を行った主体に対し、設計等費及び改修工事費の一部に補助金を交付

## 地方自治体

国土交通省と共に、改修かかる費用に対し補助金を交付（社会資本総合整備交付金を充当）

連携先募集：  
7月末まで

## 「製品・サービス」の提供者

## 企業・団体名 期待される役割

## 提案者

健康・省エネ住宅を推進する国民会議

事業全体の事務局として各自治体と連携先となる事業者を結び、啓発イベントや講習の開催・運営を担当

## 建築事業者

地域の改修業者に対し、省エネ改修技法の共有や改修指導を実施  
地域住民・医療への講習

連携先募集：  
7月末まで

## 医療事業者

自治体、地元医療団体・医学部に対し、健康と住環境の連関性に関する学習会を実施

連携先募集：  
7月末まで

## 保険事業者

環境改善による健康や介護への影響を医療関係者や自治体と共同調査

連携先募集：  
7月末まで

## ご提出いただいた製品・サービス・取組等のご紹介

- 新たに4件の「製品・サービス・取組」をご提出いただきました。これらについては、順次、事務局がヒアリングさせていただきます(特に、今後、連携先を募って実施していく可能性のあるものについては、必要に応じて「連携実践プロジェクト」として協議会員に周知させていただきます)。なお、**ご提出いただいた詳細内容については、別紙資料として共有させていただきますのでご覧ください。**
- 協議会会員の皆様への共有やHPの掲載等も活用した情報発信を行っていきます。

カテゴリー	分類	件数	ご提出いただいた取組等の概要
(1) 応援拠点(体験・体感の場)	(紹介) 自団体の取組	2	百貨店における脱炭素製品の応援 等
(2) 住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン	—	—	—
(3) 服装・サステナブルファッション	—	—	—
(4) デジタルワーク	—	—	—
(5) 連携実践プロジェクト・普及啓発キャンペーン	—	—	—
(6) インセンティブ付与(グリーンライフポイント等)・効果的な情報発信(ナッジ)	(紹介) 参画団体との連携に関する事項	1	節電によりポイントが付与されるアプリケーション お客様にインセンティブを付与する仕組みは保有しており、お客様の環境配慮行動を促す施策をご検討されている企業様はお声かけください。
(7) 地域独自の豊かなくらし	(紹介) 自団体の取組紹介 等	1	高効率の小型水力発電機
(8) その他の施策	—	—	—

## ご提案・ご意見等の提出

奮ってご意見・ご提案等の提出をお願いします

- 第7回協議会に向け、**6/23(金)**までにご提出ください

また、本日ご紹介した各プロジェクトについて、ご参画の希望があれば、それぞれの期日までにご連絡をお願いします

## 第7回官民連携協議会

日時：

- 7月21日(金) 10時~、オンラインで実施予定

アジェンダ(現時点想定)：

- G7広島報告 など

なお、ご参加が難しい方向けに、協議会の動画を共有させていただきます。  
協議会の場以外でもご意見等を承りますので、  
事務局までお気軽にご連絡ください

---

## 卷末資料

---

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

意識啓発

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト&アンバサダーチームによる環境配慮商品の開発・普及の支援

- 内容：著名人が所属する環境省の取組であるアンバサダー制度を活用し、企業・団体・自治体と連携して持続可能なライフスタイルやウェルビーイングを拡大

提案者

The Organic

専門的知見をもったアンバサダーを派遣し、環境配慮型「製品・サービス」の企画・プロモーション支援を実施

NTTドコモ

カボニューアンバサダーと連携し情報発信・イベントの実施（詳細は今後決定）

企業・団体・自治体

アンバサダーを活用した製品・サービスの開発

連携先募集：  
随時

インセンティブ

国民・消費者の行動を見える化し、ポイント付与

- 地域のゼロカーボン施策の取組と連動する事業モデルの共創

自治体

実証の場及びポイント原資を提供いただける自治体との連携を希望

連携先募集：  
随時

提案者

アジア航測

実証事業の基盤となるパッケージ「こつこつ(CO2CO2)」(アプリ/サービスを含む)を提供

企業

アプリによる見える化の対象となる製品/サービスを提供する企業との連携を希望

連携先募集：  
随時

# プロジェクトの進捗状況（個別）

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

xx: 前回協議会からの更新箇所

インセンティブ

### 脱炭素ポイント付与による府民の脱炭素行動後押し

- 内容：小売事業者等が現在運用しているポイントシステムを活用し脱炭素に資する商品・サービスを購入した大阪府の消費者に対してポイントを上乗せ付与
- 日時：2023年度6月～

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者
大阪府

小売事業者等を募るとともに、脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、上乗せ付与するポイント原資の一部補助

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

大阪府内の事業者
----------

脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、ポイント付与を実施、効果検証の協力

連携先募集：5月末まで

インセンティブ

### 上記の取組を、自治体・事業者へ展開

- 脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対しポイントを上乗せ付与する取組を全国へ展開

提案者
大阪府

上記事業に係る仕組み・実証結果の情報提供

自治体
-----

上記事業の成果等を参考に、大阪府と同様の事業を展開

連携先募集：随時

応援拠点

### 食用油の循環型社会実現の為、廃油回収効率化（回収拠点等の設置・広報）への取組

- 食用油の回収率を上げるとともに、回収効率を改善することで植物油メーカーとの協業による販売から廃食油回収までの循環型社会を実現させる

コンビニ/GS
---------

廃食用油の回収拠点となる

連携先募集：6月末まで

提案者
モバイルソリューションティーアイシー

廃食用油の回収、SAF燃料への転換

自治体
-----

食用油の回収、資源循環について市民への広報を実施

連携先募集：6月末まで

〔XX〕: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

小田急	イベントを開催する場所を提供
-----	----------------

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者	
PlayBlue	衣類回収、古着の物々交換会、染め直しオーダー受付、アップサイクルブランドの展示・販売を実施するイベントを開催

ファッショナブル

"洋服染め直し"の魅力発信によるアップサイクルプラットフォームの利用促進を通じたアパレルロス削減

- アパレル企業の滞留在庫のアップサイクル、染め直しサービスの提供

"服の循環を生み出す"コミュニティ形成と場の提供によるアパレルロス削減

- 古着の回収/古着の物々交換/染め直しオーダー受付などのアップサイクルの取組を通じた古着の地域循環

応援拠点

商業施設においてサステナブルな社会づくりにつながるテーマについて総合的に発信

- 内容：プラスチック削減や廃品回収、森里川海等をテーマにした展示会、子供向けの啓発を目的とした展示会/ワークショップ等
- 場所：そごう（横浜店・千葉店・広島店・大宮店）  
西武（所沢S.C.・東戸塚S.C.・福井店・秋田店）

提案者	
そごう・西武	

各店舗において、本取組の企画・主催、場の提供、各種媒体・広報によるプロモーションを行う

企業	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) KDDI ※販売や会員募集は不可 連携先募集: 随時
団体/NPO	サステナブルをテーマとした展示を行う ※販売や会員募集は不可 連携先募集: 随時
自治体	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) 埼玉県・所沢市、 <b>広島県・広島市</b> 連携先募集: 随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

生活者が楽しみながら環境行動出来るよう、個人の環境行動の価値を社会全体で認めていく仕組み作り

- 内容：環境行動の可視化とライフログの蓄積の仕組みに関する検証を行う  
(昨年度は、G7に向けたコンセプト動画を作成)
- 日時：2022-23年度  
(22年度：構想検討、23年度：実証&実装検討)

自治体

より環境負荷の小さな移動手段への転換や公共交通機関の利用促進のため、住民にインセンティブを付与

連携先募集: 随時

提案者

ANA X

日常の全ての移動をポイントとして貯め、さまざまな特典に交換できるサービスアプリケーション「ANA Pocket」を提供

企業

移動以外の日常生活行動に伴うCO2排出量の可視化技術、ユニークなエコ製品やサービス提供でアプリと連携

連携先募集: 随時

インセンティブ

移動や購買におけるCO2排出量の可視化とポイント付与による行動変容の促進

- 内容：CO2排出量の可視化機能とポイント発行機能を搭載したアプリケーションの利用により環境負荷の小さな移動手段、購買活動、飲食への転換を促す
- 日時：2023年4月以降

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

#### ポイント付与による消費者の行動変容促進（グリーンライフポイント事業）

- 内容：消費者の方々が気軽に環境配慮行動に取り組めるような仕組みを提供し、また環境に良い取組を行う企業・自治体の情報を発信
- 日時：2023年4月ー

「場・機会」の提供者	「製品・サービス」の提供者
企業・団体名 期待される役割	企業・団体名 期待される役割

提案者	期待される役割
KDDI	ポータルサイト「au Ponta ポータル」にて、環境にやさしい製品・サービスを提供するauPAY加盟店の取組の紹介と導線提供 また、消費者の環境に配慮した消費行動に対し、ポイントを付与
企業	auPAY加盟店として本取組に参加 <b>連携先募集：随時</b>
自治体	地域として本取組に参加 <b>連携先募集：随時</b>

インセンティブ

#### 地域脱炭素・住民の行動変容に向けたポイントの活用

- 内容：地方自治体とのアライアンスを組み、地域ごとに実施
- 日時：2023年4月ー

自治体 (脱炭素先行地域)	住民・旅行者等の環境配慮行動を促すため、ポイント付与する施策を実施 <b>連携先募集：随時</b>
------------------	--

提案者	期待される役割
KDDI	実証事業の取組主体となる自治体に基盤となるパッケージ（システム/サービスを含む）を提供

〔XX〕: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

お客さまへのインセンティブ（特典）付与により再生可能エネルギー電源の普及促進と地域の環境にやさしい取組・活動を支援

- お客さま（CO2フリー電気、環境活動支援・特典）
- 地域のご支援先（活動等資金のご支援、取組・活動の訴求）
- 当社「三方よし」を目指す

提案者

東北電力

再エネ由来の電気の契約によるプレミアム支払いを原資に、東北・新潟地域の環境配慮行動を支援する「ecoでんきプレミアム」の提供

企業/団体  
/NPO/自治体

特典となる商品・サービスをご提供いただける企業・団体だけでなく、下記を満たす活動支援先を募集

- ① 環境にやさしい取組を進める活動
- ② 東北・新潟地域の取組であること
- ③ CO2フリー料金をお支払いいただくお客さまの納得感の得られる活動

インセンティブ

自治体/企業と連携し、購買データを活用した環境配慮型行動の普及促進

- 地域通貨や各種決済手段等との連携を通じ、買い物の利便性向上/市民参加型のエコへの取組等を促進

提案者

東芝データ

電子レシートサービス・購買データの提供・活用により、買い物における環境行動変容を促す

企業・自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体・企業を募集

連携先募集:  
9月まで

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

中立性・公共性を持ったプラットフォームを通じて脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を発信

- 参画者の声をより大きく伝えて国民の脱炭素認知向上



提案者

NTTドコモ

脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を伝える、中立性・公共性を持ったプラットフォーム「カボニューコミュニティサイト」を提供（<https://caboneu.jp/>）

自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集：  
随時

企業

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集：  
随時

インセンティブ

日常行動の脱炭素貢献を可視化・履歴を蓄積するログ・スコアを通じ、消費者のモチベーション向上を促進

- 日々の生活の中での脱炭素接点を確認し、脱炭素に向けた意識を継続保持



提案者

NTTドコモ

環境サービスの利用状況や移動情報などからCO2削減量や環境配慮への貢献度を見える化するサービス「カボニューレコード」を提供（<https://caboneurecord.web.docomo.ne.jp/>）

自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集：  
随時

企業

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集：  
随時

インセンティブ

従業員が環境行動を登録しCO2排出・削減量を可視化するアプリを用いて、企業として従業員の行動変容を促し、環境社会実現を目指す

また、企業が社外に発信することで、環境問題に取り組む企業としての認知向上にも寄与する

提案者  
NTTコミュニケーションズ

従業員の環境への意識向上・行動変容を促すアプリ「グリーンプログラム for Employee」の提供

企業・自治体

企業として従業員の環境意識を向上/行動変容を促したい企業への参画を呼び掛けるもの

連携先募集：  
随時

〔XX〕: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

従業員の行動によるCO2排出削減量を可視化し、複数企業で成果を出すことで、「従業員の行動変容の重要性」を社会に発信し、機運醸成を目指す

提案者

イソリューションズ

企業へキャンペーン参加を呼びかけ、行動可視化データをアグリゲート・発信

企業/団体/  
国・自治体

「行動可視化アプリ」をお持ちの企業や、そういったアプリを活用して、自社の従業員の教育/啓蒙を実施したい企業との合同キャンペーンを呼び掛けたい  
(CO2見える化の方法等については皆さまのご意見を踏まえて決めていきたい)

連携先募集;  
随時

再エネ

Googleの技術を活用したオンライン太陽光発電シミュレーターを戸建てオーナーへ無料提供することで、既設住宅等への太陽光発電設備普及を促す

- 家庭等に向けて、創エネ、予測売電収入、補助金および導入設備に係る収支情報や、CO2削減量など統合的に提供し、太陽光発電設備の導入意思決定をサポート
- 自治体に向けて、損益シミュレーション提供を通じ、各自治体に即した脱炭素の取組、市民啓発等に役立てていただく

自治体

自治体独自の補助施策の情報を掲載し、消費者に制度の活用を促す

連携先募集;  
随時

太陽光  
関連事業者

自社の特徴等を掲載し、消費者に太陽光発電システム導入を促す

連携先募集;  
随時

提案者

東京電力

家屋に係る日射量を機械学習により解析し、太陽光発電導入収支/CO2削減量を自動算出するツール「Suncle」をオンラインで提供

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

ワーケーション

滞在先地域における地域連携の観点を踏まえた拠点整備によりワーケーションを促す

- ワーケーション利用者数を増やすため、コミュニケーションをテーマに、地域のコミュニティと交流できるワーケーションプランを提案

提案者

小田急

国立公園“箱根”の玄関口小田原をワーケーション拠点として整備  
また箱根全体の未来の環境や観光についての共創拠点を整備

企業・自治体

ワーケーションプログラムを共同開発

ワーケーション

SDGsの普及啓発/実践と、ワーケーションの組み合わせ

自治体 / 地域NPO等

ワーケーションの受入れ

提案者

損保ジャパン

ワーケーション参加者向けのSDGsの普及/実践に関する研修パッケージ(SDGsカードゲームなど)/保険の提供

インセンティブ

サッカー観戦時の環境配慮行動に対するポイント付与

- 内容：スポーツの訴求力を背景に、環境配慮行動に応じてポイント付与を行い消費者の行動変容を促す
- 日時：2023年3月26日-6月17日

松本山雅 FC

ホームゲーム開催日にスタジアムにて、啓発イベントを実施し、また日々の環境配慮行動に対してポイントを付与。次のホームゲームまでの期間でサポーターのCO2削減量の集計を行う

提案者

DATAFLUCT

ポイント付与のプラットフォームbecoz walletを提供  
各環境配慮行動によるCO2削減量を計算

# プロジェクトの進捗状況（個別）

- これまで全8件の取組が実施/終了
- 新たに取組を実施/終了された楽天、京都超SDGsコンソーシアム、札幌市より、質疑応答・意見交換の場において取組の振り返りをいただく

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

### 「製品・サービス」の提供者

### 企業・団体名 期待される役割

### 企業・団体名 期待される役割

## インセンティブ

消費者にメリットのある行動が脱炭素につながる行動だという“気づき”を与えることで脱炭素行動を促進

- 内容：楽天ラクマ上で、消費者の脱炭素行動に対してインセンティブを付与することで、クロスアクションが促進されるか検証
- 日時：2023年3月9-19日

### 提案者

楽天

リユース・一回受け取り・地産地消等の脱炭素行ほどお得になるキャンペーンを楽天ラクマ上で実施し、クロスアクションの促進がされるか検証実施

### 事業者

キャンペーン期間中にポイント付与の対象となる商品を提供

## 教育

SDGsに代表される環境課題について、世界の若者・学生で議論するユースサミットを開催

- 内容：議論テーマは、脱炭素含む環境課題について、参加者から事前に募って設定（4月15日にG7札幌にて、成果を報告）
- 日時：2023年3月21-23日
- 場所：京都府立ゼミナールハウス「あうる京北」/オンライン

### 提案者

京都府

COP3開催地・環境問題のメッカとして知られ、留学生も多くサポート体制が充実した京都において三日間にわたり場を提供し、世界約30か国の若者・学生約200名をサポート

### 提案者

京都超SDGs  
コンソーシアム

ユースサミットの企画・主催

### NPO

ユースサミットに参加する学生の紹介、メンターとしての議論支援など

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 最先端の技術・取組を紹介する「環境広場ほっかいどう2023」の開催

- 内容：楽しみながら最先端の環境技術・取組等に触れる機会を提供、環境に対する意識の向上や行動変容を促すためのイベントを開催
- 日時：2023年4月15-16日
- 場所：札幌ドーム (G7札幌会合に合わせ開催)

#### 提案者

札幌市

札幌ドームにおいて、脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービス等についてステージイベントやブースでPRする場を提供

企業/団体  
/NPO/他自治  
体

ブース出展やステージイベントに参画し、最先端の環境技術や脱炭素につながる新しい暮らしを支える製品・サービス等の情報を提供

# お問い合わせ/ご連絡先



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動・官民連携協議会事務局  
ボストン・コンサルティング・グループ (BCG)

E-mail: [Decarbonized@bcg.com](mailto:Decarbonized@bcg.com)

TEL: 03-6387-7198 (直通) ※9:30~17:30 土日祝除く



環境省 地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室

[室長] 井上 雄祐 (いのうえ ゆうすけ)

[担当] 井上 (昇)、酒井、金井、深澤、岩本、渡部

住所: 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL: 03-5521-8341 (直通)

Email: [chikyu-suishin@env.go.jp](mailto:chikyu-suishin@env.go.jp)

---

## 參考資料

---

# 「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」とは

- 本年のG7広島サミットも見据え、脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル 転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示します



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らしを後押し**します



来年のG7やG20等において、

- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案**
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調**を提案・発信することも視野

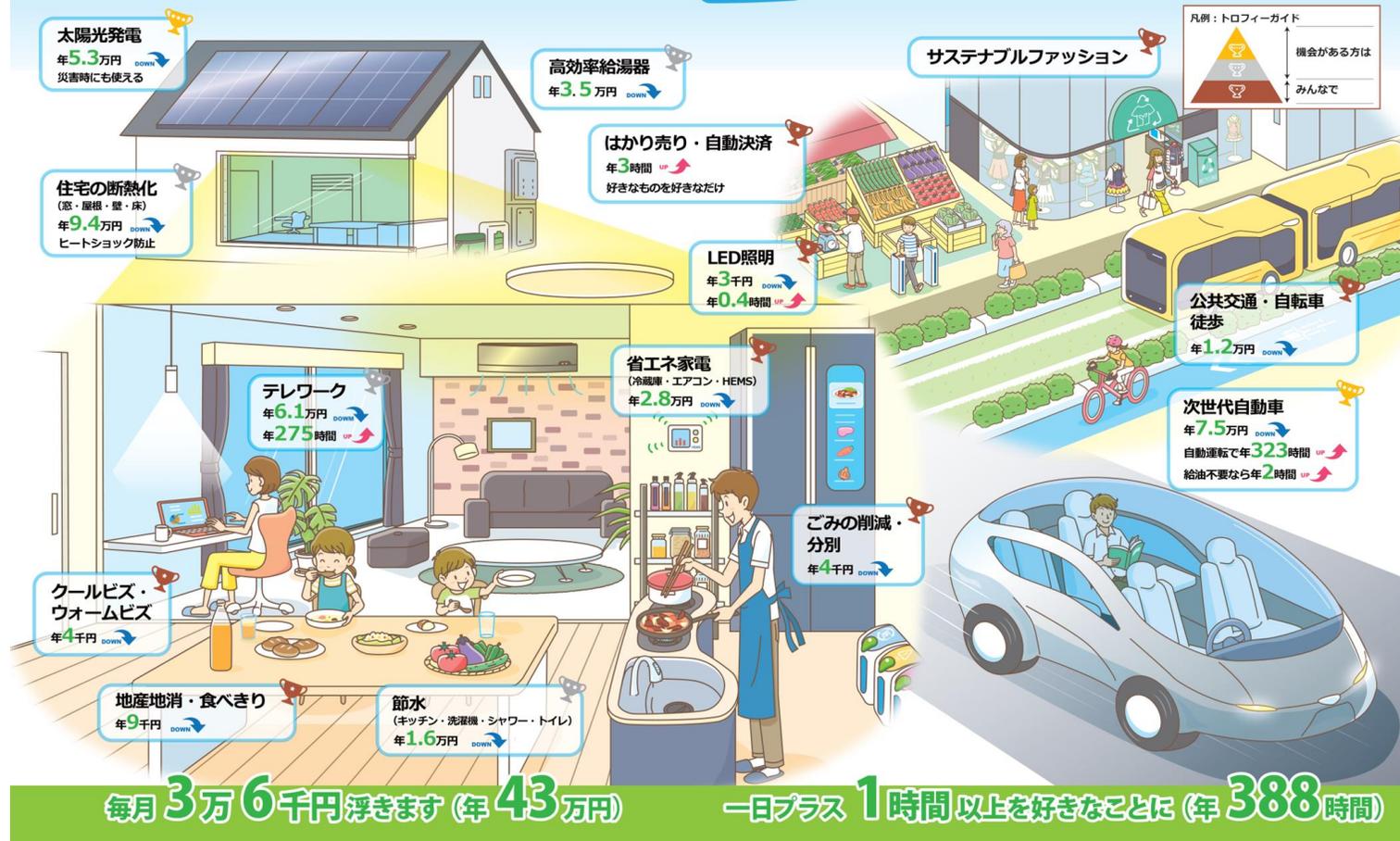


**国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットイン**を促します

# 新たな国民運動の内容 ①

○ 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案をします

## 脱炭素につながる **新しい豊かな暮らしの10年後**



※ 新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは環境省HP ([https://ondankataisaku.env.go.jp/cn\\_lifestyle/](https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/)) で御確認いただけます。

# 新たな国民運動の内容 ②

○国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします

デジタルも駆使して、多様で  
快適な **働き方、暮らし方**  
を後押し（テレワーク、地方移住、  
ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らしを支える **製品・サービス**を  
提供・提案



2

**インセンティブ** や効果的な  
情報発信（気づき、ナッジ）を  
通じた行動変容の後押し  
（消費者からの発信も含め）



3

**地域** 独自の（気候、文化等  
に応じた）暮らし方の提案、  
支援



4



脱炭素につながる新たな豊かな  
暮らしの全体像を**知り、触れ、  
体験・体感**してもらう様々な  
**機会・場（応援拠点）**を  
**アナログ・デジタル**問わず提供

今年度以降、地域・全国へ

# 新国民運動官民連携協議会について

○官民連携で効果的な実施につなげるため、国、自治体、企業、団体、消費者等による官民連携協議会（プラットフォーム）を、新しい国民運動と同時に立ち上げ、一体的な展開を図ります

## 「官民連携協議会」を立ち上げ



## 参加者間で協議し、以下のアクションを実施

- 

① デジタル活用や製品、サービスを組み合わせた新たな豊かな暮らしのパッケージ提案、機会・場の創出など消費者への効果的な訴求に向けた連携
- 

② 各主体の取組で得られた知見・経験・教訓の共有とベストプラクティスの横展開（グリーンライフポイント事業等）
- 

③ 政府施策への提案・要望（環境省普及啓発予算の具体的な使い道・アイデア等）

# 官民連携協議会の位置づけ、機能

- 国民運動全体の中での協議会の位置づけ  
= 国×自治体×企業×団体×消費者の連携・実践の場 & 最新情報・意見の共有・交換の機会
- プロジェクト提案・実施、施策への意見・要望、参画主体間のつなぎ・照会等を事務局がサポート  
➔ 皆様が“やりたいこと”を実現する場として、本協議会をフルスイングで御活用ください！

## 国民運動

### 官民連携協議会：例えば、

- 実証事業、普及啓発、実践事業・キャンペーン等の実施に対する関連予算の活用(シードマネー・呼び水的資金サポート等)
- 協議会の参画団体の皆様のご提案を踏まえた連携・マッチング
- G7/G20等におけるグローバルな発信・PRの機会の確保 など

604主体  
(204自治体、254企業、  
126団体、20個人)  
令和5年4月7日時点

10年後の絵姿



## 個々の取組、製品・サービス等の発信・PRなど

デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し。(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)	脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案
インセンティブ や効果的な情報発信 (気づき、ナッジ) を通じた行動変容の後押し (消費者からの発信も含め)	地域 独自の (気候、文化等に合わせた) 暮らし方の提案、支援

ポータル登録数: 195件  
(働き方・暮らし方: 18件、製品・サービス: 113件、インセンティブ: 73件、地域: 20件 ※重複有)  
令和5年4月7日時点

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る 国民運動

2050年カーボンニュートラル及び2035年実質ゼロの実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を後押しするなか、新しい国民運動を創ります！

国民生活につながる様々な暮らしの課題・悩みをこめりすることにも、国・自治体・企業・団体等と共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

提案・取組を登録しよう

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る提案・取組を登録し、国民・消費者の新しい暮らしを後押ししましょう

登録はこちらから (Google フォームが開きます)

- 官民連携実践プロジェクトの**組成から実施、実施後フォローまで、事務局等**がご支援いたします。

➔ **マッチング、案件形成、シードマネー、発信PR、効果測定**など  
必要な範囲でご支援が可能ですので、事務局までお気軽にご相談ください

- このうち、シードマネーについては、
  - ① 事業ポートフォリオの一部に呼び水的に資金投入することで、
  - ② その後の自走、社会実装・拡大普及が見込まれ、
  - ③ 脱炭素に向けて費用対効果が高いものに対して**資金サポート**を行うものです。こちらも事務局までご相談ください

# 体験・体感の機会・場（脱炭素de豊かな暮らし応援拠点）の設定

- 幅広い国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を進めるためには、
  - ① 脱炭素につながる豊かな暮らしを**具体的な製品・サービス**とともに知っていただくとともに、
  - ② 知るのみならず、**体験・体感**といった**共感**につながる**機会・場**が欠かせません

- こうした機会・場を消費者にニーズに応じて

- ・「アナログ」（人が多く集まるショッピングモールやモデルルームなど）、
- ・「デジタル」（メタバース、スマートフォンやアプリなど）の双方で

「**脱炭素de豊かな暮らし応援拠点**」として様々設定していく考えです



- 今後の流れとしては、

- ・今年度は、提案を基に実証事業（トライアル）としてモデル的に設定し、具体的な製品・サービスをお持ちよりいただく形で消費者訴求を試行する

- ・そこで得られた課題等を踏まえて、来年度以降、各地域・全国に拡大させていく 予定です

➡ 「機会・場」、「製品・サービス」等を積極的に御提案いただければ幸いです

- 本年5月以降に、①クールビズ×サステナブルファッション、②熱中症予防に向けたキャンペーンを順次展開することを考えています
- 「実践・体験の場」や「製品・サービス」をお持ちの企業、地域で旗を振られる自治体・団体をはじめ、本キャンペーンに賛同・連携いただける方を募りますので、奮って手上げをお願いします

### ①クールビズ×サステナブルファッション

- クールビズに、衣類のリサイクル/アップサイクル等、ひとつの衣服を長く活用するサステナブルファッションを併せ、新たな夏の装い創出につなげていきます
  - クールビズを軽装励行を超えた、TPOに応じた服装の自由化につなげていきます
  - サステナブルファッションの浸透促進により、大量生産・大量消費型から廃棄を少なくする循環型への移行を推進します



### ②熱中症予防

- 夏場の熱中症増加に備え、広く熱中症予防の必要性と重要性を呼びかけていきます
- 熱中症予防につながる「機会・場」や「製品・サービス」のご提案をお願いいたします



「新しい豊かな暮らし」における夏の過ごし方を是非ご提案ください